

業 績 目 録（令和6年）

大学院科目名：疼痛・緩和医療学

(A-a) 英文著書

該当なし

(A-b) 和文著書

- 1 大屋里奈. VII. オピオイド不適切使用. CQ7-4 オピオイド鎮痛薬の退薬症状とはどのようなものか？ 非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン改訂第3版（日本ペインクリニック学会 非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン作成ワーキンググループ）. 文光堂，東京：pp78-9, 2024.
- 2 大屋里奈. VII. オピオイド不適切使用. CQ7-8 オピオイド鎮痛薬の過量投与（呼吸抑制）とその対応は？ 非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン改訂第3版（日本ペインクリニック学会 非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン作成ワーキンググループ）. 文光堂，東京：pp87-8, 2024.

(B-a) 英文総説

該当なし

(B-b) 和文総説

- 1 小川覚. 中心静脈カテーテル留置と患者安全. 医療と安全 18-19: 18-26, 2024.
- 2 大屋里奈. 症例ライブラリー；術後慢性痛のリスクをどう低減するか. LiSA. 31: 936-40, 2024.
- 3 永井義浩, 丹波和奈, 越田晶子, 上野博司. こどもの慢性疼痛の診察, IV 緩和医療, 2 こどものがん治療に伴う痛みへの対応. ペインクリニック. シービーアール, 東京：45, S151-S162, 2024.

(C-a) 英文原著

- 1 Ogawa S, Amaya F. A peripherally acting μ -opioid receptor antagonist for treating opioid-associated tinnitus: A case report. Palliative Medicine 38: 1065-8, 2024. (IF=4.76)
- 2 Noguchi A, Tezuka T, Okuda H, Kobayashi H, Harada KH, Yoshida T,

- Akioka S, Wada K, Takeya A, Kabata-Murasawa R, Kondo D, Ishikawa K, Asano T, Fujiwara M, Hishikawa N, Mizukami T, Hitomi T, Youssefian S, Nagai Y, Tanaka M, Eto K, Shiraishi H, Amaya F, Koizumi A, Takahashi T. Genetic Analysis of *SCN11A*, *SCN10A*, and *SCN9A* in Familial Episodic Pain Syndrome (FEPS) in Japan and Proposal of Clinical Diagnostic Criteria. *Int J Mol Sci*. 2024 Jun 21;25(13):6832. (IF=4.56)
- 3 Sawa T, Saeyup P, Kinoshita M, Kainuma A, Ogawa S, Amaya F, Akiyama K. Pulmonary vein stump thrombosis and organ infarction after lung lobectomy. *J Anesth* 2024 Dec;38(6):866-878. (IF=2.08)
- 4 Takahashi Y, Yoshii R, Amaya F, Sawa T, Ogawa S. Effect of acute normovolemic hemodilution in patients undergoing cardiac surgery with remimazolam anesthesia. *J Anesthesia* 38: 98-104, 2024. (IF=2.08)
- 5 Yoshii R, Takahashi Y, Tanaka KA, Kawajiri H, Sawa T, Amaya F, Ogawa S. Point-of-care efficacy testing for tranexamic acid: A proof-of-concept study in cardiac surgical patients. *Br J Anaesth* 132: 1211-1218, 2024. (IF=9.17)
- 6 Shimomura M, Okada S, Furuya T, Oya R, Hirakawa Y, Amaya F, Inoue M. Short-term outcomes of robotic subxiphoid-optical thymectomy. *Surg Today*. 2025 Feb;55(2):205-210. (IF=2.55)

(C-b) 和文原著

該当なし

(D) 学会発表等

I) 招待講演、特別講演、教育講演等

- 1 小川覚. 心臓外科手術における止血管理の最適化をめざして. 第96回新潟麻酔科懇話会, 2024. 6. 22, 新潟.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 小川覚. 心臓血管外科手術における大量出血症例に対する輸血療法の現状と課題, 第72回日本輸血細胞治療学会総会, 2024. 5. 31, 東京.
- 2 小川覚. 臨床と血液凝固研究を両立させるためのコツ. 日本麻酔学会

第 71 回学術大会, 2024. 6. 7, 神戸.

- 3 小川覚. シンポジウム 血液凝固 up to date 第 XI 因子・活性型第 XI 因子阻害薬と周術期対応について. 第 29 回日本心臓血管麻酔学会学術集会, 2024. 9. 22, 広島.

Ⅲ) 国際学会における一般発表

該当なし

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 445 万円

公的助成

代表（総額）・小計 400 万円

1 天谷文昌

文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（B）令和 6～9 年度
次知覚神経の細胞内に存在する自然免疫機構に着目した慢性疼痛の機序
解明の研究 助成金額 370 万円

2 小川寛

文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（C）令和 3～6 年度
活性型第 XI 因子拮抗薬の拮抗治療および凝固モニタリング法の確立の
研究
助成金額 30 万円

分担・小計 45 万円

1 天谷文昌

厚生労働行政推進調査事業費補助金 慢性の痛み政策研究事業 令和 4
年度～令和 7 年度
痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療デ
ータベースの活用による医療向上を目指す研究 助成金額 20 万円

2 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 令和 6 年度～
令和 7 年度

小児四肢疼痛発作症の就学・就労支援マニュアルの作成のための調査
研究助成金額 10 万円

3 厚生労働行政推進調査事業費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政
策推進研究事業 令和 5 年度～令和 7 年度

HPV ワクチンなどのワクチン接種後に生じる種々の症状についての調
査とその対応方法に関する研究 助成金額 15 万円